

資料 2-2

名張市男女共同参画推進に係る市民意識調査及び事業所アンケートについて

第 2 次名張市男女共同参画基本計画見直しにかかる基礎資料として、令和元年度に市民意識調査及び事業所アンケートを実施します。なお、①調査結果の分析 ②前期計画期間中における事業実績 ③男女共同参画推進審議会による審議 ④計画関係室との協議等により計画を見直していきます。

1. 男女共同参画に関する市民意識調査

- ・調査対象 市内在住の 20 歳以上の男女：1,500 人（住民基本台帳から無作為抽出）
- ・調査方法 郵送による配布と回収 ※送付物：調査票・返信用封筒
- ・調査期間 令和 2 年 4 月中旬～5 月中旬（予定）
- ・調査項目 「資料 2-3」参照
【参考/前回調査（平成 26 年 10 月 1 日～31 日）】
 - ・調査対象：20 歳以上の市内在住の男女 1,495 人（住民基本台帳から無作為抽出）
 - ・調査方法：郵送配布、郵送回収 ・回数数 598 人（回収率：40.0%）

2. 男女共同参画に関する事業所アンケート調査

- ・調査対象 名張市人権・同和教育推進協議会企業部会加盟企業・事業所：168 か所
- ・調査方法 郵送による配布と回収 ※送付物：調査票・返信用封筒
- ・調査期間 令和 2 年 4 月中旬～5 月中旬（予定）
- ・調査項目 「資料 2-5」参照
【参考/前回調査（平成 26 年 9 月下旬～10 月 31 日）】
 - ・調査対象：名張市人権・同和教育推進協議会企業部会加盟企業・事業所 158 か所
 - ・調査方法：郵送配布、郵送回収、企業・事業所訪問時に回収 ・回収数 82 事業所 ※回収率 51.9%

（参考）回収率と標本誤差（層化無作為抽出）

標本の大きさ	10%程度の回答者が選ぶ設問	30%程度の回答者が選ぶ設問	50%程度の回答者が選ぶ設問
100 人	5.9%	9.0%	9.8%
300 人	3.4%	5.2%	5.7%
600 人	2.4%	3.7%	4.0%

※50%の回答者が「はい」と回答した場合、標本の大きさが 100 人であれば、概ね 40.2%～59.8%の範囲に真の値があり、600 人であれば概ね 46.0%～54.0%の範囲に真の値があると推定できます。

○男女別に比較分析する場合は、回収率が 40%とすれば、標本の大きさは次の通りとなります。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{目安とする標本の大きさ} \\ \text{※上表参照} \\ \hline \mathbf{300 \text{ 人}} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{性別区分} \\ \hline \mathbf{2 \text{ 区分}} \\ \text{(男女)} \\ \hline \end{array} \div \begin{array}{|c|} \hline \text{回収率} \\ \hline \mathbf{40\%} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{調査票送付数} \\ \hline \mathbf{1,500 \text{ 通}} \\ \hline \end{array}$$

目標の標本の大きさが 300 の場合、誤差が±5.7%の範囲内となり、ある一定の信頼できる結果が得られると考えられる。※回収率は前回の回収率（40.0%）と同程度を想定

3. 前回調査からの見直し箇所

(1) 市民意識調査

設問	見直し内容
問 10	<ul style="list-style-type: none"> ・男女の家事分担等の実績については、前回は全ての調査対象者に聞いていましたが、配偶者の有無によって分析する必要があるため、既婚者と未婚者で回答者を分けました。 ・家庭での夫婦での家事分担をより具体的に分析するために、質問項目を増やしました。 ・なお、これらについては、県との比較も可能とするため、県の調査票（R1）を参考にしました。
問 15	市のイクメン施策が乳幼児中心となっている中、今後、小学生の父親向けの施策を進めていくために、こういったところに注力すべきかを分析するための設問を追加しました。
問 17・問 18	ワークライフバランスについて問う設問を国の意識調査（H28）を参考に追加しました。
問 20	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の家事・育児参画を進めるために必要なことを聞く設問ですが、国の意識調査（H28）を参考により詳細な選択肢とし、設問内容を見直しました。 ・当設問において、経年による比較をするというよりも、現時点において、男性の家事・育児・介護への参加を促すために、こういったところに重点化すればよいかをより詳細に検証します。 ・2つまでの選択としていたものを、複数選択可として、全国との比較を可能とします。
問 26・問 27	マタハラ・パタハラの実態を調査するために、県の調査票（R1）を参考に設問を追加しました。
問 32	<p>「LGBT」、「ダイバーシティ」の認知度について新たに調査します。 ※次は、基本計画の進捗状況を測る項目であり、掲載が必須となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「男女共同参画都市宣言・条例」の認知度 ・「女性活躍推進法」の認知度 ・「ポジティブ・アクション」の認知度 ・「男女共同参画センター」の認知度 ・「DV防止法」の認知度

(2) 事業所アンケート

設問	見直し内容
問 12・13	平成 30 年 7 月に実施した「まちじゅう元気！イクボス宣言なばり」賛同事業所アンケートにおいて聴取した内容を踏襲し、アンケートに追加しました。
問 11	<p>問 13 と整合性をとり、項目別に進捗状況を聞くこととしました。</p> <p>※問 10 のセクハラ防止対策をしている事業所の割合については、基本計画の進捗状況を測る項目であり、掲載が必須となります。</p>